

◆高力（こうりき）ボルトの不足問題について

建設工事で、鉄骨に使う高力ボルトが不足し納期が長期化している。
鉄骨を使う工事は、できるだけ前倒しで発注するなど、
工期に影響が出ないように注意願いたい。

1 国交省（令和元年5月17日 国交省プレスリリース）

- ・高力ボルトの納期が8ヶ月程度と長期化している（通常2ヶ月程度）。
- ・しかし、高力ボルトの需要量（推定）は、ひっ迫するほどの状況でない。
- ・原因は、（災害復旧やオリンピック施設建設など）鉄骨需要が増え、ボルトの在庫が不足し、需要者の先買い、水増し、重複発注等が多発、市場の混乱による一時的な現象の可能性
- ・対策として、標準的な発注様式を作成、適時的確な注文を行うよう、建設業の各団体に協力を要請

2 建設部（建築課関連の鉄骨を使った工事）

■現在施工中の工事

・第一学校給食センター

高力ボルトは、請負者が既に確保しており、影響はない。

鉄骨2階建て 延べ約4600㎡ 高力ボルト約2万5000本

工期 平成30年9月25日～令和2年1月31日

請負者 守谷・松代建設共同企業体

■今後発注を予定している工事

・朝陽小学校屋内運動場

鉄骨＋鉄筋コンクリート2階建て 延べ約2000㎡ 高力ボルト約1万本

・中条総合市民センター

鉄筋コンクリート、一部鉄骨鉄筋コンクリート2階建て 約2300㎡ 約5000本

発注予定 7月請審 → 8月公告 → 10月仮契約 → 12月議会承認

予定工期 令和元年12月議会承認後 ～ 令和2年度末



主管課と相談した結果、10月臨時議会での承認に前倒し予定

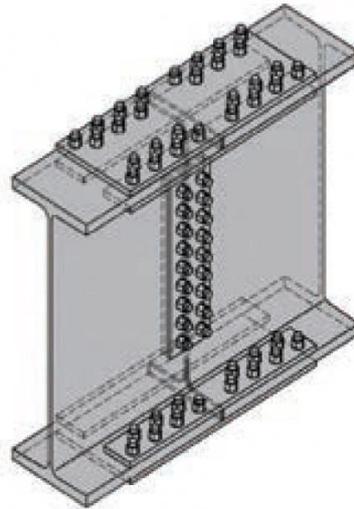
3 各部局

鉄骨を使った工事については、できるだけ発注を前倒しするなど、
工期に影響が出ないように注意願いたい。

【参考】高力（こうりき）ボルトについて

1 高力ボルトとは、

鉄骨造等で、鋼材同士を繋げるために使用するボルト
通常のボルトより強い力で締付け、鉄骨同士を摩擦で強く接合する。
通常より強い鋼材を使用している。



2 対策として、

- ・ 早期発注により準備期間を十分に確保する。
- ・ 工事発注後、ボルトの施工寸法をできるだけ早期に確定する。
（メーカーに発注後に変更すると、注文がリセットされ納品順番が繰り下がる）
- ・ 高力ボルトを用いない工法への変更
（溶接や普通ボルトへの変更など、ただし、構造的な検討・確認等が必要）

等が考えられる。